

「人事評価が映し出す自社の姿」

9月26日 於 株式会社三谷合金製作所

株式会社三谷合金製作所 三谷 祐一郎

会社訪問・研修委員会では「今こそ自身に問う、なぜ、何のために」という委員会テーマのもと、「人事評価が映し出す自社の姿」と題し、人事評価を切り口として自社を見つめ直すきっかけとなる例会を開催いたしました。例会には、25名の会員様にご参加いただきました。

例会当時日までに、会員企業様が人事評価についてどのような認識をお持ちであるか、またどのように人事評価制度を運用されているのかについてアンケートを取らせていただきました。アンケートへの回答は39名様より賜り、アンケートの結果を委員会でもまとめ、資料として当日の例会で活用させていただきました。



今回の例会では、あえて「人事評価をいかに導入するか」をテーマにせず、「そもそも人事評価とは何なのか?」「何のために人事評価をするのか?」にスポットを当てて2部制で進めてまいりました。

1部では、「そもそも人事評価とは何なのか?」について、戦後から現在まで時代の流れとともに社会の環境や、働く方の環境が移り変わっている事をまとめ、発表を行いました。

2部では「何のために人事評価をするのか?」について4つのグループに分かれディスカッションを行いました。各グループには、人事評価制度を導入されている会員様、今後導入を検討されている会員様、今後も導入する予定の無い会員様を交え、60分間討論していただきました。



ディスカッション後は、各グループより人事評価に対する考え方や気づきについて発表をしていただきました。その中で、各グループより最も多く出た意見としては、「人事評価というツールを導入する為には、経営者として企業が目指す方向性を指し示すことが必要であり、方向性がしっかりしていなければ成り立たない」と言った意見が出ていました。人事評価制度を導入されている会員様にとっては、導入されていない会員様の状況を聞く事により自社での人事評価の必要性を再認識するきっかけとなり、導入されていない企業様にとっては導入されている企業様の話を聞く事により、どういった想いで人事評価を導入し運用しているのか、そもそもの導入するきっかけとなった目的は何なのか知り、今後の経営者としての軸を作るきっかけとなったのではないかと感じています。

最後になりましたが、事前アンケートにご回答いただきました会員の皆様、当日ご参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。